

St. Kobayashi
R. Galvão Bueno
伯新聞
Calixa, 375 S. Paulo
本紙定価 一年 金百圓
外埠郵費 金百圓
本紙定価 一年 金百圓
外埠郵費 金百圓

清東麒麟
清東鳳凰
IND. AGRICOLA CAMPINEIRA LTDA.
C. 228 S. PAULO

躍活軍皇空海陸

壓倒的空襲の効果に 敵の重砲陣、漸次沈黙

上海方面、戦局有利に展開

（東京十八日）海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

十七日上海方面の陸戦隊にありては引き続き極めて優勢なる敵に對し我が軍は守備隊を確保し、反覆襲撃する敵を反撃し多大の損害を與へてゐる、我が空襲部隊の壓倒的空襲の効果により敵機の來襲は漸次衰へ敵の重砲陣地も亦我空襲隊の爆撃により逐次砲火力を減じてゐる

「上海十八日」海軍省
官室午前六時發表

小賢し敵水雷艇 我が旗艦を襲撃

魚雷艇が我が旗艦を襲撃

（上海十八日）海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

日清汽船爆沈さる

（上海十九日）我が海軍當局の發表によれば、黃浦江に停泊中の我が日清汽船六隻は支那軍の機雷艇に襲撃され、當局は全然武装せざる商船に對する支那側の例の暴行に嚴重對策を講ずることとなつた

敵機百五十臺を爆破

北支の支那軍總崩れ

（東京十九日）我が海軍當局の調査によれば前日來の彼我空中戦に於て我方は敵機五十臺を撃墜、地上待機中の敵機一〇〇機を爆破その他格納庫二〇棟を完全に爆破した、我方に全く損害なしなほ北支の支那軍は上海、南京に於ける中央軍の惨敗に浮足立ち戦意全く喪失、我軍の攻撃に總崩れとなつてゐる

空中戦續行

我精銳機、縦横に活躍

（上海十七日）我が海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

消息不明

（東京十八日）海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

極東の運命は 日本の双肩にあり

米人記者、全米に親日放送

（東京十七日）アメリカ全米に正しく時局を認識させるため、A. K. 氏は北支事變の發展から説き起し日本が自衛の行動を余儀なくするに至つた經過を詳細に説明した後上海の空襲に及び、血塗つた支那空軍が無事の自衛民を始め在留米人その他を殺傷した事件を報告、今や極東の運命は日本の政策一つにかゝつてゐるが、日本は永遠の東洋平和を樹立する建前から各國への國際信義は固く守つてゐるから吾々も安心してゐる

南京に叛亂勃發か

嵩む戦費に國民政府、公債發行

（上海十八日）我が海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

揚樹浦より撤退

在留邦人不安に曝さる

（上海十七日）工部局警視總監が、右引揚樹浦は工部局の租界内であるが、揚樹浦一帯の地區にある工部局の警察官を放逐することを決定した

我が空軍、再び

南京を爆撃

（上海十八日）我が海軍省では十八日夜上海方面の一般戦況に關し副官談の形式を以て左の如く發表した

カーザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá, 25 - C. Postal, 911 - SANTOS
Phones: 2105 e 2106 - End. Teleg.: "TOZAN"

東山銀行部
信託定期預金 一ヶ月六分
サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu Ns. 74/76
Telephones: 2-1685 - 2-2981
取次所
Rua Conde do Pinhal, 120 - Tel. 2-3706
Caixa Postal, 528 - SÃO PAULO - End. Teleg.: "TOZAN"

リス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
Caixa Postal, 11 - LINS
Phone 240 - End. Teleg.: "TOZAN"

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie-Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.º 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

横濱正金銀行
リヂーナ・ヤキイロ支店
定期預金六ヶ月以上 利率年六分
定期預金六ヶ月以上 利率年六分
定期預金六ヶ月以上 利率年六分
定期預金六ヶ月以上 利率年六分

留民はアスター・ウエス、プロ
留民はアスター・ウエス、プロ
留民はアスター・ウエス、プロ
留民はアスター・ウエス、プロ

日支事變の脅威に 中南米が抱く悪夢 帝國主義的侵略を警戒

【華府十七日】「ユナイテッド・プレス」通信は、中南米諸國に對し、日支事變の脅威に對して、中南米諸國の感情は、如何なるものか、と問ふ。中南米諸國の感情は、如何なるものか、と問ふ。中南米諸國の感情は、如何なるものか、と問ふ。

白刃を振舞ひて 敵陣に斬り込む

【上海十六日】十六日午前十一時、山東方面の戦況は、日軍の優勢が著しく、敵軍は退却中である。日軍は、敵軍の陣地に侵入し、激戦を繰り出している。

民風振作の大運動 銃後の徹底も図る

【十七日同前】民風振作の大運動は、各地で盛んに行われている。銃後の徹底も図られ、民衆の士氣は高まっている。

四千圓也の高給で 外人飛行士を募集

【東京十六日】我が海軍航空隊の募集に、外人飛行士を募集する。高給で、四千圓也の高給で、外人飛行士を募集する。

支那の抗日戦備 敵本主義の防備

【上海十六日】支那の抗日戦備は、敵本主義の防備を重視している。支那の抗日戦備は、敵本主義の防備を重視している。

法王使節から 我軍に慰問金 正義の軍に外人感激

【北平十六日】北平各界代表は、法王使節から我軍に慰問金を贈った。正義の軍に外人感激。

敵艦追跡を脱し 廣東在留民引揚げ

【香港十七日】廣東在留民は、敵艦追跡を脱し、安全に引揚げられた。廣東在留民引揚げ。

三井、三菱等で シンチケート組織

【上海十七日】三井、三菱等でシンチケート組織が組織された。シンチケート組織。

支那機、逃避

【香港十七日】支那機は、逃避した。支那機、逃避。

南口でも 我が軍前進

【天津十七日】南口でも我が軍は前進した。南口でも我が軍前進。

青島緊張 支那軍移動活発

【青島十七日】青島は緊張状態にあり、支那軍の移動が活発に行われている。青島緊張、支那軍移動活発。

急募 植字 二名 青年 二名

【本報】急募、植字 二名、青年 二名。急募、植字 二名、青年 二名。

開業御挨拶

謹啓小生此度栗津幾太郎氏經營の双葉商店を譲受け去る八月一日よりフルデ

賣住宅地

電車乗合自動車の通ずる最良住宅地長期賣出し開始、場所バロ・デ・ピラ・マ

吉雄武保

スタンダード・ガザリン石油特約店 本店 主任 吉雄武保

ブル法律早わかり

「附」誰にも必要な法規
第二輯 近日刊行 速く御申込を、豫約価格ハミル

ブル法律早わかり

ブル法律早わかり
ブル法律早わかり

賣住宅地

電車乗合自動車の通ずる最良住宅地長期賣出し開始、場所バロ・デ・ピラ・マ
リ・ア・ナ、地権確実、御希望の御方には何時でも書類御見せ致します

開業御挨拶

謹啓小生此度栗津幾太郎氏經營の双葉商店を譲受け去る八月一日よりフルデ
ンテ市分店として營業致し候間本店同様の御愛顧賜り度此段御願申上候

急募

植字 二名
青年 二名
日伯社

歸伯御挨拶

拜啓 各位益々御清祥大賀此事に存じ候
陳者昨年十一月母國訪問の際各地の厚き御配意を蒙り候段御禮申上候

在伯同胞三十年の移民青史大観

中血涙の大作 ブル情景大写真帖
御禮朝ミヤの最高峰 聖地製所前
母親知友の記念品 贈呈品
同胞皆様の記念品 贈呈品
【カクシテ】
Caxa, 23 - S. Paulo

吉雄武保

スタンダード・ガザリン石油特約店 本店 主任 吉雄武保

吉雄武保

スタンダード・ガザリン石油特約店 本店 主任 吉雄武保

吉雄武保

スタンダード・ガザリン石油特約店 本店 主任 吉雄武保

吉雄武保

スタンダード・ガザリン石油特約店 本店 主任 吉雄武保

CASA BANCARIA BRATAC.
Rua Annita Garibaldi, 219 S. PAULO Caixa Postal, 2975
電話 2-3121 2-3122 電信略號 BRTAC S. Paulo

【五十六】
春近し（十三）
こらへ様としてゐても、嬉し
笑ひが頬をついて来るのを、ど
うするかも知れない——み
や屋屋の紅林甲子太郎（山形屋
五兵衛）だつた。
今日道場の朝稽古に行つて見
ると、稽古前に、八名の同門の
士と共に、千葉周作から、北辰
形の佛檀があつた。

今し——身仕度を終つた甲子
太郎、ガタビシする表の格子戸
をあけて、外に出やうとして、
「持てよ」
立ち止まつて、何思つたか、
つか／＼と、座敷に上ると、正
面の押入れをガラリと引あけた
——中には、ガラクタばかりの
この家には不似合な、立派な小
形の佛檀があつた。



【2】
妹 尾 正 男要譯
ガリバルチ・ダンタス手記

東京の市

我等が日本に来てから最初の數日間、に於ける印象は非常なもので、我等の觀察したことを平靜に分析することは困難である、凡ては映畫の如く過去で、公式プログラムから少しでも外れる時間はなかつた、時といふよりも殆んど分に至るまで綿密に計算してあつた、
本を見たいが、それは使館團の儀式が一通り済んだから後のこと、當分は辛抱が肝腎

地下室には百貨店があつて、光客はホテルを一步も出ないで日本を知ることが出来る、數メートル歩けば驚くばかり品の豊富なバザールが幾つもある、洋服で御座れ、絹のキモノで御座れ、その他何でも日本の特産があるから數分間で調達出来る、北には無いものなしである、北米以上に組織の整つてゐるデパート街の銀座まで出かける必要もない

東京の生活

の
ハに

のホテルの建築は他に類ないものである、それはアメリカ技師の考案である、技師は狂死したのだよである、實際東京ホテルの建築には奇想天外が横溢してゐる、厚い壁、煉瓦はむき出しであるが非常に丈夫な鉄筋コン

ほと喜ばしいものでない、夜の十一時にはキヤフエー・コンサートの劇場も閉めてしまつて東京の都と化する

X X X

東京は繪の如く美しく又驚べきものである、先づ第一に今

舟のやうに

常に低い、その内部は人をして恍惚たらしめるものがある、るので尙更であつた

として日にち曜よう

ジルの經濟使節、こゝでは店員
 の勤務時間に觸れてゐないが、
 この點如何に彼等の眼に映じを
 か。そのために夜の東京は賑わ
 かである、不完全なる街路照明
 よりも數奇をこらした商店の照
 明の方がウント美事である、日
 ゆる形の多彩ネオンの廣告燈は
 日本で廣く用ひられ不夜城を現
 出する、日本の夜の街は比類を
 きませんである
 こんな風で東京は東洋的でもな
 く西洋的でもない、市として
 は東西洋のカクテルであり過走

東京は灰の

日本幕後の第一週は公式訪問

綿花安地代高

勞銀高に對する防戦法は？

よき農具は勞力を節約し
よき肥料は收穫を増す

農具、肥料各種
農業用藥品
大量入荷

明珍兄

明珍兄弟商會

純日本式ふとん綿

小畑製綿所

小畑又吉
ンデ・ド・ビニヤール街七九番

聖市近郊農業者諸氏に告ぐ

今年こそは是非食ふ丈けのお米を作りま
う、百姓が米を買つて食つてゐると云ふ
は大體百姓道への反逆であります、當
米所を御利用下さる方へのみ當地に最
良種籾を種々お世話致します

橋詰精米所

川原義則君

葬儀の節は遠路の所御會葬下され候段
篤く御禮申上候

力十力才^{化學工業}株式會社

川原義則儀 不慮
の災難にて七月九
日オスピタルアレ
モンに於て死去仕
候間此段辱知諸賢
へ御通知申上候

兄 川原勝

中尾熊喜
吉本龜
吉本義清
櫻井繁
武者慶五郎
江藤弘
齊藤雄治郎
鈴木總次郎
高橋勇
大島學
大坪愛兒
中尾次男
瓜生知助
吉田正隆
森田求
吉田光雄
本郷孝
佐竹武夫
丸尾富之助
岩鄉明嘉
蓬田稔
山岸清
中尾家憲
櫻井正
新工善一
武藤廣
吉本貞雄
武藤正義
小島孝三郎
園原學
里見長男
宮原甚市

KANAKAO S/A
 中尾肥料店改め
 御送金の節は銀行手形若くはバレー
 ポスタルにて御願ひ致します最も確
 實迅速です。コンピュータールは商取引
 上不便で時間をとり發送が遅れます
 Caixa. 2186 - Teleph. 8-2587
 Rua Butantan, 2 - São Paulo

[illegible]

棉作歩合募集

無資本棉作者に一大福音
バ延長線唯一の優良地

▼場所
當バストス移住地隣接地サウーデ區西隣にて當町より十三基米の地點より始る

▼交通
現在當バストス町はソロカバナ及パウリスト兩線の驛を持ち便利此の上なし、棉作地迄自動車便毎日の如し

▼地主
邦人既知のフアゼンダ・スイツソ耕主として大事業家マツクス・ビルチ氏

▼面積
六百アルケール

▼期間
三ヶ年契約としてフォルマ・バストの條件

▼歩合
契約者側七分地主側參分の割とし二ヶ年目より變更更す

▼地味
肥沃にして平均作二百アローバを下らず米棉に適す、害虫多き古地を捨て新土に多收穫を得られよ

▼特點
經營費としてアルケール當り參百ミルを十月より三月迄で貸し、外にマキナ、殺虫劑も貸與す山伐り山焼きは地主持ち家屋は十アルケールに付きデニコ四十枚及釘、針金等を貸與す

▼觀察
以上の通りなれば御希望の方は棉花商會事務所及び中央旅館を御尋ね下されば何時にても自動車を差し出します

▼宛名
ソロカバナ線ラシヤリーヤ驛バストス町
棉花商會事務所
及中央旅館
林田鎮雄

[illegible]

求女給さん

數

名

ハニナ亭

料理

市ス

8月

新

譜

一枚
針二十

ギタ
尺八
四重奏

輝山三春
29246

高橋小川
橋山倉太
孝嘉 晴
一伸俊朗

流行歌
ふんなのないわ
雨の降る夜

29294
霧島
ミス・コロムビア
昇

流行歌
青春二重奏
貴郎が好きよ

29258
普中
葉野あ
き
九子晴

流行歌
チエリ一日本
櫻むすめ

29260
二中
葉野あ
き
了晴

流行歌
箱根旅情
伊豆の朝霧

29261
松普
平
昇

流行歌
喫茶店哀話
あゝ美青年

29288
松豆
平
昇

流行歌
浅間
馬賊の唄

29289
伊赤
藤坂久
小梅

流行歌
おしへて頂戴
ちよいと

29290
伊千
藤代久
丸男

流行歌
春の日の想ひ出
若葉の丘

29291
霧島
葉あ
き
昇

流行歌
峠の馬子唄
伊那の娘

29292
霧島
音
丸昇

流行歌
願をかけませう
命がけだよ

29293
二葉あ
き
子晴

流行歌
木曾路の旅
山の夕霧

29295
松平
見

流行歌
浮名三味線(安藏の唄)
浮名三味線(お初唄)

29299
霧島
昇

ズヤジ

山寺の和尚さん
アコーデオンの春

29300
コロムビア・ナカノ
リズム・ボーイ
野忠 晴

小唄
都々逸(浪花節入)
米山甚句(浪花節入)

26237
天中軒雲月嬢

(第次越申御
呈進録目總)

ボーコレアピムロコ

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII

S. Paulo — 5.a-feira 19 de Agosto de 1937

Num. 1.185

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO

SACK MIURA

DIRECTOR

Masaaki Ujihara

GERENTE

Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas

Rua Maestro Cardim, 69

Telephones: 7-3325 e 7-3326

Caixa Postal, 375

Endereço Telegrafico: "Nippak"

SUCCURSAL

Rua Conde do Pinhal, 154

Telephone: 2-3926

SÃO PAULO — BRASIL

Assignaturas

PARA O BRASIL

Por ano, 30\$000

Por semestre, 16\$000

Numero avulso, \$500

PARA O EXTERIOR

Por ano, \$5000

Annuncios

temos a disposição dos interessados

uma tabela completa de preços para

annuncios nesta folha

O conflicto nippo-chinez

A decisão do Governo Imperial — Uma irradiação da JOAK — Violentos bombardeios aereos — Varias notas

Um significativo gesto do Vaticano

O representante do Papa em Tokio offerece um donativo aos soldados nipponicos

Tokio, 17 — A justa e justificada acção dos soldados nipponicos contra as barbaridades praticadas pelos soldados chineses, está merecendo a sympathia dos estrangeiros residentes no Nippon. Os ministerios da Guerra e da Marinha tem recebido valiosos donativos destinados aos nossos bravos soldados na China. Entre esses donativos merece especial referencia o offerecido pelo representante do Vaticano junto ao nosso governo, sr. Paulo Marella. O referido prelado, depois de manifestar a sua gratidão pela acção dos soldados nipponicos, offereceu, acompanhado de uma dedicatória, um donativo de 300 yens, assignado como representante do Vaticano. O sr. Suzuki, chefe do Protocollo do ministerio do Exterior que recebeu o prelado catholico, em nome do ministro Hirota, commovido, apresentou profundos agradecimentos em nome do governo japonês.

A opinião do sr. Chi-Hieh-Yuan

Tokio, 7 — O sr. Chi-Hieh-Yuan, membro de maior influencia do Conselho dos Cinco da Segurança Publica de Pekin, declarou que a população da China do Norte não poderá salvar-se enquanto permanecer sob o jugo do governo de Nankin, acrescentando que se torna necessario afastar a administração do general Chang Kai-Chek e colaborar estreitamente com o Japão. O sr. Yuan declarou ainda, que lamentava que os outros membros do Conselho não concordassem em aceitar os principios fundamentais da politica que deveria ser seguida.

A decisão do governo Imperial

O gabinete publicou um manifesto

Tokio, 14 — O gabinete reuniu-se extraordinariamente, ás 22,35 horas de hoje, para tratar das medidas necessarias a serem applicadas para garantir a vida e as propriedades dos subditos nipponicos de Shanghai que se acham ameaçados pelo bombardeio dos chineses. Nessa reunião em que tomaram parte todos os membros do gabinete, ficou assentado a publicação de um manifesto, dando as razões porque o Nippon é obrigado a recorrer ás armas para, na defesa da sua honra e dos seus direitos, cohibir a acção nefasta e impensada do exercito chinês no centro da China. No referido manifesto o governo imperial historia os numerosos incidentes provocados em consequencia da propaganda anti nipponica do governo de Nankin, contrariando sempre o desejo do Japão, que é o da paz duradoura no Oriente Asiatico. Frisa o perigo que pode advir da união dos communistas aos nacionalistas e explica como o Nippon supportou até hoje as injurias e provocações com o unico desejo de preservar a paz. No entanto accentua o manifesto — o Nippon foi obrigado a reagir, pois os chineses romperam fogo contra as nossas forças em Shanghai e bombardearam os nossos navios.

O manifesto termina dizendo que o desejo unico do Nippon é, neste momento, fazer despertar o governo de Nankin e o Partido Nacionalista, afim de que mandem cessar a insidiosa campanha contra o Nippon e poder, desse modo, realizar a verdadeira união entre as tres nações — Japão, Mandchuria e China.

Os chineses bombardearam vasos estrangeiros, pensando que fossem japonezes

Shanghai, 14 — A aviação chinesa completamente desorientada com os ultimos acontecimentos, bombardeou a concessão franceza e a concessão internacional, matando milhares de pessoas alheias ao conflicto actual.

Ainda ultimamente os chineses bombardearam um vaso de guerra inglez pensando que fosse japonês, mas infelizmente o projectil não atingiu o alvo.

Londres, 15 — O governo da Londres indignado com a aviação chinesa, que sem nenhum cuidado bombardeando sem mais nem menos, enviou ao embaixador inglez junto ao governo de Nankin, sr. Hughessen, uma severa nota de protesto.

A impressão de um jornalista yankee irradiada pela JOAK

Tokio, 17 — Sob o titulo «O conflicto da China do Norte e o bombardeio aereo de Shanghai, vistos por um jornalista americano» a estação JOAK desta capital irradiou «in totum», hoje, a conferencia do sr. Frank Hedges, correspondente especial da Federação dos Jornaes Norte-Americanos.

O sr. Hedges começou a sua oração abordando as origens do conflicto da China do Norte e explicando como o Japão, perdendo a paciencia, foi obrigado a lançar mão da força, para a sua defesa propria. Quanto ao bombardeio aereo levado a effeito pelos chineses em Shanghai, o jornalista americano relatou a carnificina causada não só aos residentes americanos e de outras nacionalidades, mas aos

Os aviões nipponicos em acção!

A aviação nipponica bombardou Nankin!

Shanghai, 15 — Communica o addido naval japonês:

1.º — Algumas dezenas de aviões pertencentes a aviação naval com base em Shanghai, atacou Hangchow, travando uma luta emocionante com os aviões inimigos, tendo destruído cerca de dez destes e inutilizado todos os que se achavam em terra.

2.º — Ao meio-dia, outra esquadilha naval, vencendo a tempestade, então reinante no mar da China, atravessou-o e bombardeou Nanchang lançando dezenas de bombas e destruindo alguns aviões inimigos que se achavam em terra. Sempre ao meio de tremendo temporal, os bravos aviadores regressaram á base, depois de cumprirem a sua missão.

3.º — A esquadilha da nossa aviação naval atacou a base aerea da capital inimiga, Nankin, causando-lhe serios danos. O inimigo pediu, por intermedio do telegrapho, o auxilio de outras localidades.

Segundo noticias recebidas aqui, Chang-Kai-Chek se mostra assustado, achando-se em conferencia com os maiores do seu governo.

propios chineses não combatentes. Acrescenta que a sorte do Oriente está agora na dependencia da politica nipponica, mas como o Nippon respeita rigorosamente os direitos internacionais «podemos — disse — ficar tranquilos porque o Japão visa estabelecer somente a paz no Oriente» e terminou concitando os seus patricios americanos a terem confiança na politica japoneza.

Medida para augmentar a produção do chloreto de sodio a ser empregado na industria

Tokio, 4 — Afim de augmentar a produção do sal de cosinha, materia prima para a industria de alcaloides, estava sendo executada a resolução seguinte: Augmentar de 1.000.000 de toneladas a produção annual de sal, e isto durante cinco annos.

Comtudo, tendo augmentado muitas outras fontes consumidoras, calcula-se que a importação dessa importante materia prima até o fim do corrente anno, elevar-se-á a 1.500.000 toneladas.

Em face dessa previsão, o departamento de monopolio do Ministerio das Finanças abandonou a resolução anterior, para tomar uma nova medida que consiste em augmentar de 2.000.000 de toneladas a produção annual durante 5 annos.

ESPORTES

Dois trophéos de honra para os atletas da Colonia Japoneza

Conforme noticia já divulgada, o trophéo de honra conquistado pelo athleta Nambu em Paris, chegou ao Rio no dia 8 do corrente. O trophéo que é uma taça de grande valor, ficará exposto na Embaixada durante alguns dias e será depois enviado ao Consulado Geral aqui em São Paulo, afim de ser offerecido ao vencedor do salto em extensão na Competição Inter-Colonial a realizar-se nos dias 4 e 5 do proximo mez de Setembro.

O segundo trophéo em questão é o dardo que o athleta Sumiyoshi offereceu á Associação Japoneza de Esportes, quando este athleta esteve aqui entre nós. Não é bem certo ainda, mas corre noticias de que a directoria da Associação Japoneza de Esportes está tratando de offerecer ao vencedor do dardo na competição de Setembro esta reliquia tão preciosa deixada pelo athleta Sumiyoshi.

A piscina Koshiyen

Tokio, 16 — A piscina de natação que se acha em construção ao lado do campo de base-ball de Koshiyen será inaugurada em Fevereiro proximo. Esta piscina será a maior e do Nippon, podendo receber 12.000 espectadores.

O café brasileiro importado pelo Japão

O Japão que, um tempo, allegando a inferioridade do café brasileiro, preferia cafés de outra origem, importou nestes ultimos annos grande quantidade de café brasileiro.

Desde 1933 até o presente anno, importou do Brasil nada menos que 9.000.000 de sacas, tendo ultrapassado a quantidade de café que se importava de Java, a qual era a maior fornecedora desse producto.

Em vista disso a Sociedade Productora de Café da India Hollanda de Rotterdam enviou especialmente para Tokio propagandistas, afim de fazer uma «tremenda guerra» no campo da propaganda cafeeira no Japão.

Creação de um departamento para tratar da defesa aérea

Tokio, 5 — Na sessão da Camara dos Pares realizada hoje, o sr. Baba, titular do Interior, declarou que, entrando em vigor em abril do proximo anno uma lei que regula todas e quaisquer questões concernentes a defesa aerea, será creado um departamento especial para cuidar da mesma.

CASA
Almeida & Almeida
MAN SPEECH DEUTSCH
ENGLISH SPEECH - EN PARLE FRANCAIS

PAIVA
Rua São Bento, 259
AO INTERIOR
2-8866

最新柄着荷

無地と模様入り

絹もの

工場 日本農藥株式會社
伯國一手販賣 ヤマト産業株式會社
特約販賣所 日伯社營業部

をお運び下さい、御注文は五十キロ以上

次作の御用意に品質、効果、價格
共申分なき
アルセニアット・デ・シユンボ
アルセニアット・デ・カルシオ

を御愛用下さる事です

硫酸石灰は 全硫酸四二・%以上を含み、効果硫酸鉛と同等ですが安價で純國産品たる特徴を有つて居ります、定評の硫酸鉛と共に是非御使用その効果をお認め下さい



アルセニアット・デ・シユンボと
アルセニアット・デ・カルシオ
(硫酸石灰)

それには本社責任取次の國産品

棉作!!!

農作には農藥品の選定と
適劑を適所に使はれる事が增收への急務